

教育に穴があく(教員未配置状況)から考える

杏川教育

<http://kakyoso.com/>

香川県内の未配置状況

	基礎定数	加配	病休・休職代替	産休・育休代替	計
小学校		5 (4)	6 (4)	2 (1)	13 (9)
中学校		5 (5)		1	6 (5)
計		10 (9)	6 (4)	3 (1)	19 (14)

2019年4月香川県下の
小中学校での教員未配置状況
が明らかになり大きな問題に
なっています。

香川県の2019年度学級定数確定日は2019年4月12日です。学級数に合わせて教職員が配置されます。未配置の状況は、上記のとおりです。（カッコ内は高松市）県教委は、「4月現在で欠員が出たのは初めてであり、多方面に連絡し、欠員の補充をするべく努力をしている」と述べています。さらに、産休・育休代替の欠員は深刻です。県教委は、「2018年10月には、任期付き職員登録試験を行い登録予定者を大幅に増やしたにもかかわらず登録者数が下回ってしまった。再任用教員も希望者はほぼ採用し、不採用だった人へも講師の募集を伝える教員の欠員状況が改善されるように努力してる」言っています。

近年、教員採用選考試験の倍率も3倍前後を推移しています。教育現場のブラックな働き方が世間でも広く知られるようになり、教職員離れが起こっていることが考えられます。

2018年3月、県教委は「教職員の働き方改革プラン」策定し、時間外勤務が月80時間を超える教員の割合が、中学校



なくそう長時間労働
増やそう
教職員を。

ネット署名にご協力下さい

せんせい ふやそうキャンペーン実行委員会

声を上げましょう

では57.6%、小学校では33.5%ですが、これをゼロにすることをめざすとしていました。

それでは、2018年度、ゼロになったのでしょうか？現場からは、「小学校では、特に外国語や特別の教科『道徳』の先行実施などもあり、余計に多忙になった」「管理職は19時前後になると『早く帰ってください』と言われ帰宅するが、自宅で仕事をしている。実際に仕事が減らないのに『帰れ。帰れ』とだけ言われるのはジタハラだ」という声が上がっています。

「仕事量が減らない」「香小研や香中研の研究やワークの使用を強制される」「教職員の賃金は全国でも低位」このように香川県の教職員の待遇が悪いままでは、香川県に教職員が集まるわけがありません。

そもそも、教育の充実と教職員の働き方改革のためには、正規の教職員の増員が求められます。そのためには、教職員の基礎定数を増やし、安定した教職員数の確保が急務です。そこで、全教は、「せんせい ふやそう」

スマホのバーコードリーダーをかざすと署名の画面につながります。

ネット署名に
change.org
ご賛同を!



せんせい ふやそう

第1回
支部長・書記長会
6月14日(金)
19:00～

職場でお困りのことが
あれば お知らせくだ
さい。

キャンペーンというネット署名に取り組んでいます。ぜひ、署名するとともに拡散をおねがいます。

すでに、欠員が出てても速やかに補充できる制度を採用したり、講師の待遇を正規並みにしたりするなどの対策を始め、欠員ゼロが実現している県もあります。

こんな人にはならないで

推奨されている中、早朝に出勤し仕事をしている教職員を職員室で称賛する管理職▼学級経営が苦しくなった教員の非難を職員室で大声でする管理職▼「講師やのに早く帰るのか」と採用選考試験の勉強をしようとして5時過ぎに帰ろうとした講師に言う教職員▼「働き方改革といっても必要に依じては土日出勤もあり。来ないあなたが悪い」と言い、休日出勤で学年団会を実施▼あげればきりがありませんが、「働き方改革プラン」は、すでに絵に描いた餅となつています▼結局、働く時間は短くしても、仕事量が減らないことの矛盾であり、安上がりな短時間勤務の人員配置が生む弊害ではないでしょうか▼今、教職員に必要なのは、時間と心のゆとりです。もちろん経済的にも…。

小黑板

年休は校長に直接口頭で申請。不在時の教頭伝達は認めない。年休取得時に、理由をね

第2回パワーアップ学習会



2018年度の学習会のようす

先輩からの具体的なアドバイスを聞くことができます。
参加者同士で交流し、教育実践や教育法規などについてさまざまな角度から考えたり学んだりします。

香教組 春の教育講座

演題：今、確かめたい
～子どもの自立を支える教師の仕事の面白さ～

子どもが大変…
大人が大変…
教師をやっていくことが大変…

…でも、目線を変えると
違う”景色”が見えてくる…。
大人目線の”当たり前”を問い直
してみましょう。

肩の力を抜いて子どもとゆったり
向き合えるようになる…。宮下先
生のそんなお話を聞いて、”ほっ
こり感”を楽しんでみませんか。



宮下 聡先生

都留文科大学
(教育支援センター)

特任教授

特別支援に関わる3つの署名

香教組では、障害児学校支部を中心に、3つの署名に取り組んでいます。どれも特別支援教育に関わる大切なものです。積極的に署名に御協力ください。

① 寄宿舍教育の充実・発展を求める要求署名
正規寄宿舍指導員が不足しています。増員を求める署名です。

② 「特別支援学校の設置基準策定を
もとめる請願署名」
特別支援学校に設置基準をつくり、教育環境をよくしていくための署名です。

③ 「特別支援学級の学級編制基準の
改善を求める要請署名」
当面、特別支援学級の学級編制基準を8名から6名にすることを目標にした署名です。

御協力をよろしくお願いします。

6月16日(日)は サンメッセ香川へ!

(午前中) 10:00~12:00 (9:30受付開始)

2020年度採用 教員採用選考試験学習会

パワーアップ学習会

サンメッセ香川 2階 中会議室

参加費 資料代300円(組合員無料 交通費支給)

(午後) 13:30~15:30

香教組 教育講座

サンメッセ香川 2階 中会議室

参加費 無料(組合員交通費支給)

会場は ともにサンメッセ香川
詳しくは下記の地図を参照してください



採用選考試験勉強会始まっています!

みんなでレベルUP!

高松会場 6/11 6/25 7/9

丸亀会場 6/5 6/19 7/3

大川会場 6/7 6/18 7/2

→ 集団面接の練習を中心にしています。

三豊会場 6/4 6/18 7/2

いずれも19:00~21:00

資料代100円

※どなたでも参加できます。

詳細は、香教組 (087-867-4797)
お問い合わせください。